

研究課題：尿路感染症に対する最適な画像検査方法についての後ろ向き研究

1. 研究の目的：尿路感染症に対して、様々な画像診断方法が採用されるが、施行時期や最適な検査方法を明らかにする。
2. 研究の概要：尿路感染症は小児には、発熱、敗血症に至る命に関わる疾患であり、一方で高血圧などの慢性疾患につながる重要な疾患である。重症度の判定、治療方法の確定のため、超音波、MRI、CT が行われる。しかし、これらの検査は、症状発症後いつ頃行えばいいのか、また、それぞれのモダリティの画像結果の関連についての報告は少ない。それぞれの検査手法による、画像所見の対応、また所見の解釈を明らかにすることによって、発症時期から経過観察において、最適な検査を選択可能となる。
3. 研究の方法
研究期間は 2000 年 9 月から 2019 年 11 月までの尿路感染症が疑われた患者で、診断のために超音波検査、CT、MRI を行われた症例を、検査時期、治療法、画像所見などを後方視的に調べる。
4. 研究期間
2020 年 1 月から 2020 年 6 月までの 6 ヶ月間で、カルテを調べ、結果をまとめます。
5. 研究に用いる資料・情報の種類
尿路感染症の患者の診断時その後の経過を、画像検査結果、カルテの記載から、病気に関する事柄（検査所見、治療方法）を調べまとめます。
6. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表
この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切わからないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この試験で得られたデータが本試験の目的以外に使用されることはありません。
7. 研究組織
研究分担医師：細川 崇洋
研究施設名：埼玉県立小児医療センター 放射線科
連絡先：330-8777 埼玉県さいたま市中央区新都心 1-2
電話：048-601-2200

8. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2020年3月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）